

2011年11月8日

「中国へのカーバイド製造技術供与」 ～環境、省エネルギー対策に貢献～

電気化学工業株式会社は、このたび中国国際（控股）股份有限公司（以下シノケムインターナショナル ※1）と乾式アセチレン発生技術供与契約を締結いたしました。それに続き、10月20日（木）に、中華人民共和国（以下中国）河南省平頂山市で、シノケムインターナショナルと平煤神馬集団（※2）とのサブライセンス契約の調印式が行われました。これによりシノケムインターナショナル社を通じて中国メーカーへデンカの製造技術移転が進むことが期待されております。既に中国の数社より当技術の引合いがあり、順次対応する予定です。

中国では塩ビ生産の拡大等により、カーバイドの生産量も増加しております。しかしながら、中国のカーバイドメーカーは年産5万トンに満たない企業が殆どで、その多くが非効率な小規模設備で生産しており、環境問題や電力不足の要因となっています。そのため中国政府は、小規模設備を廃棄、メーカーを集約し設備更新することで効率化を図り、環境対策と省エネルギー対策を進めております。

2008年11月に行われた第3回日中省エネルギー・環境総合フォーラムで、中国カーバイド工業協会から日本カーバイド協会に対して、環境・省エネ対策について打合せしたいとの申し入れがあったことがきっかけとなり、その後の工業会等での協議を経て、デンカの乾式アセチレン発生設備（※3）の実績が認められました。

社長の吉高は「デンカは、100年に亘るカーバイド製造において培った保安技術、環境技術、省エネ技術を中国に提供し、これらの技術を通じて、中国の皆様とさらなる発展関係を築いていきたい。」とかねてより述べており、今般の技術供与が、当社が日本のカーバイド化学のパイオニアとして果たすべき社会的責任であると認識しております。

以上

(※1) 中国国際(控股)股份有限公司(シノケムインターナショナル)

中国中化集团公司(シノケムグループ)の中核企業で、主要事業はゴム、金属、エネルギー、エンジニアリング分野での投資、貿易、物流など。

(※2) 平煤神馬集団

河南省、湖北省、江蘇省、上海、陝西省をはじめ、中国全土で事業展開している大型国有企業グループ。主要事業は石炭、ナイロン66、塩ビ、苛性ソーダなど。

(※3) 乾式アセチレン発生設備

粉碎したカーバイドと必要最小量の水を反応させてアセチレンガス発生させ、副生する消石灰を数%の水分を含む乾燥状態で排出することを特色とした設備。

【10月20日の調印式の様子】



【本件に関する問い合わせ先】

電気化学工業株式会社 IR・広報室 TEL: 03-5290-5511